

日本における SDO と保守的な政治的態度の関連： 三船・横田 (2018) の直接的追試を通して

○高橋龍 (Ryu Takahashi) ^{1), 2)} ・ 今田大貴 (Hirotaka Imada) ¹⁾ ・ 三船恒裕 (Nobuhiro Mifune) ¹⁾
1) 高知工科大学 2) 東京大学大学院

Introduction

- SDO は、集団間の階層構造に対する選好あるいは個人特性 (Sidanius & Pratto, 1999)
 - 保守的な政治的態度と正の相関 (e.g., Pratto et al., 2000)
 - 政治的謝罪に対する否定的な態度と負の相関 (e.g., Mifune et al., 2019)
 - つまり、個人の集団間葛藤に対する是認と関連
- 三船・横田 (2018) の Study 2
 - 2012年の日本におけるSDOと政治的態度の関係に関する重要な示唆を提供
 - しかし、過去10年間は様々な出来事が起こった (e.g., コロナのパンデミック)
 - 人々の政治的態度が変化している可能性
- 本研究の目的
 - 2022年に日本人を対象に同じ項目を測定し、三船・横田 (2018) が 10年後も再現されるか検証
 - 再現の評価 | LeBel et al. (2019) の基準
 - 変化の評価 | Kass and Raftery (1995) の基準

Methods

- 分析対象は 477名、オンライン上で回答
- 政治的謝罪への態度 (Mifune et al., 2019; 省略)
項目例 | 「日本は、第二次世界大戦において、当時の軍の関与のもとに、従軍慰安婦として多くの女性の名誉と尊厳を深く傷つける行いをしました。日本政府がいわゆる従軍慰安婦問題について、被害者に謝罪とおわびを行うことについて、どのくらい支持をしますか。」
- 誠意知覚の期待 (省略)
項目 | 「上記の問題において、日本の代表者が謝罪をした場合、相手はこちらの謝罪にどれほど誠意がこもっていると思うでしょうか。」
- 政治的態度 (三船・横田, 2018)
項目例 | 「今後も死刑制度は存続するべきである (死刑制度存続)」 「将来的には他国から移民をどんどん受け入れるべきである (移民受け入れ, 逆転項目)」 「1: 完全に反対する」「4: どちらともいえない」「7: 完全に賛成する」
- SDO₆ 尺度 (Pratto et al., 2006)
項目例 | 「ある種の人たちは他の集団の人たちよりも良い扱いを受けるに値する」 「1: 全く同意しない / 反対する」から「7: 完全に同意する / 賛成する」

Results

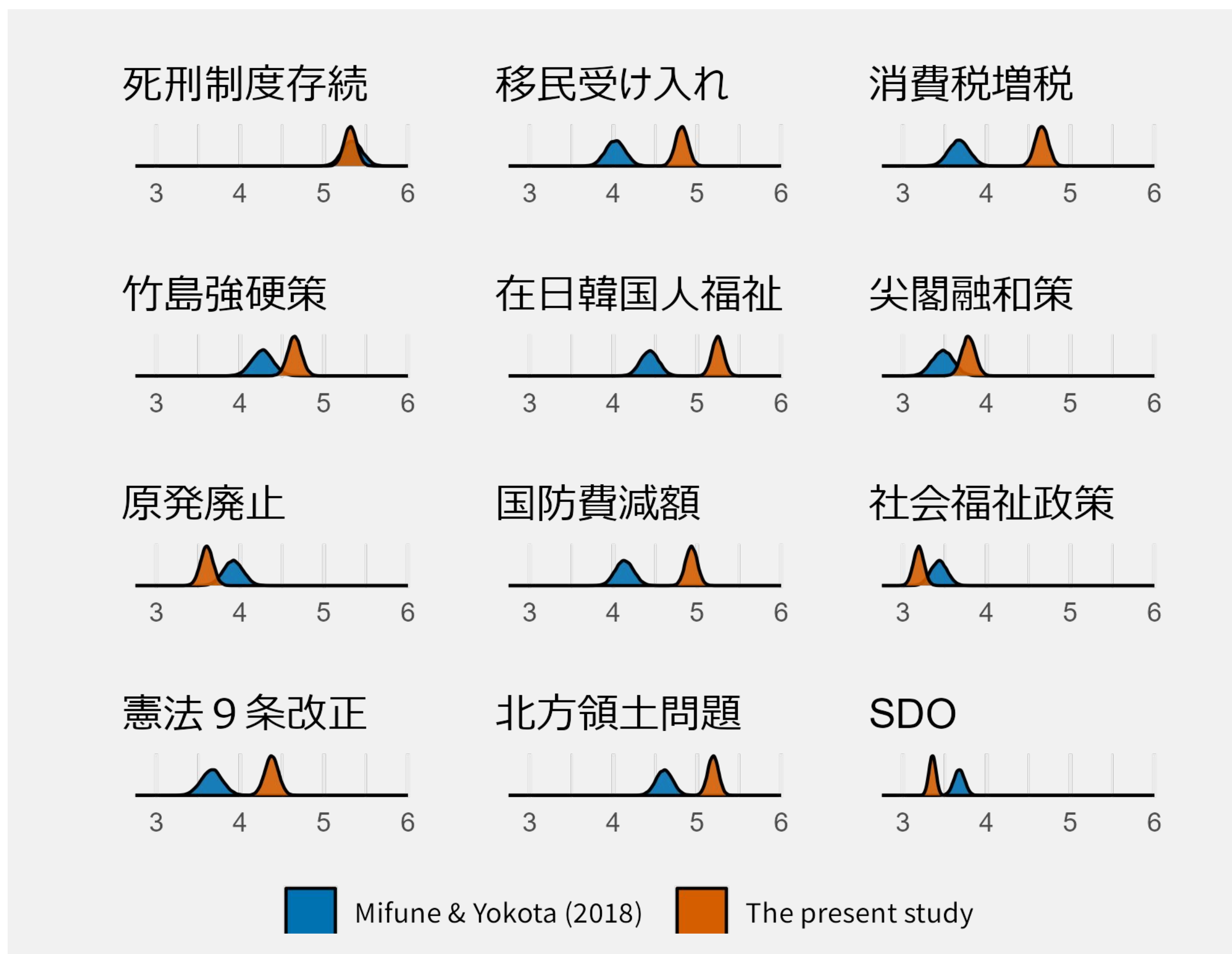


図 1. 各政治的態度の平均値の事後分布. 死刑制度存続は変化なし ($BF_{01} > 10$). 竹島強硬策, 尖閣融和策, 原発廃止, 社会福祉政策は変化の証拠なし ($BF < 3$). 上記以外は右にシフト ($BF_{10} > 150$).

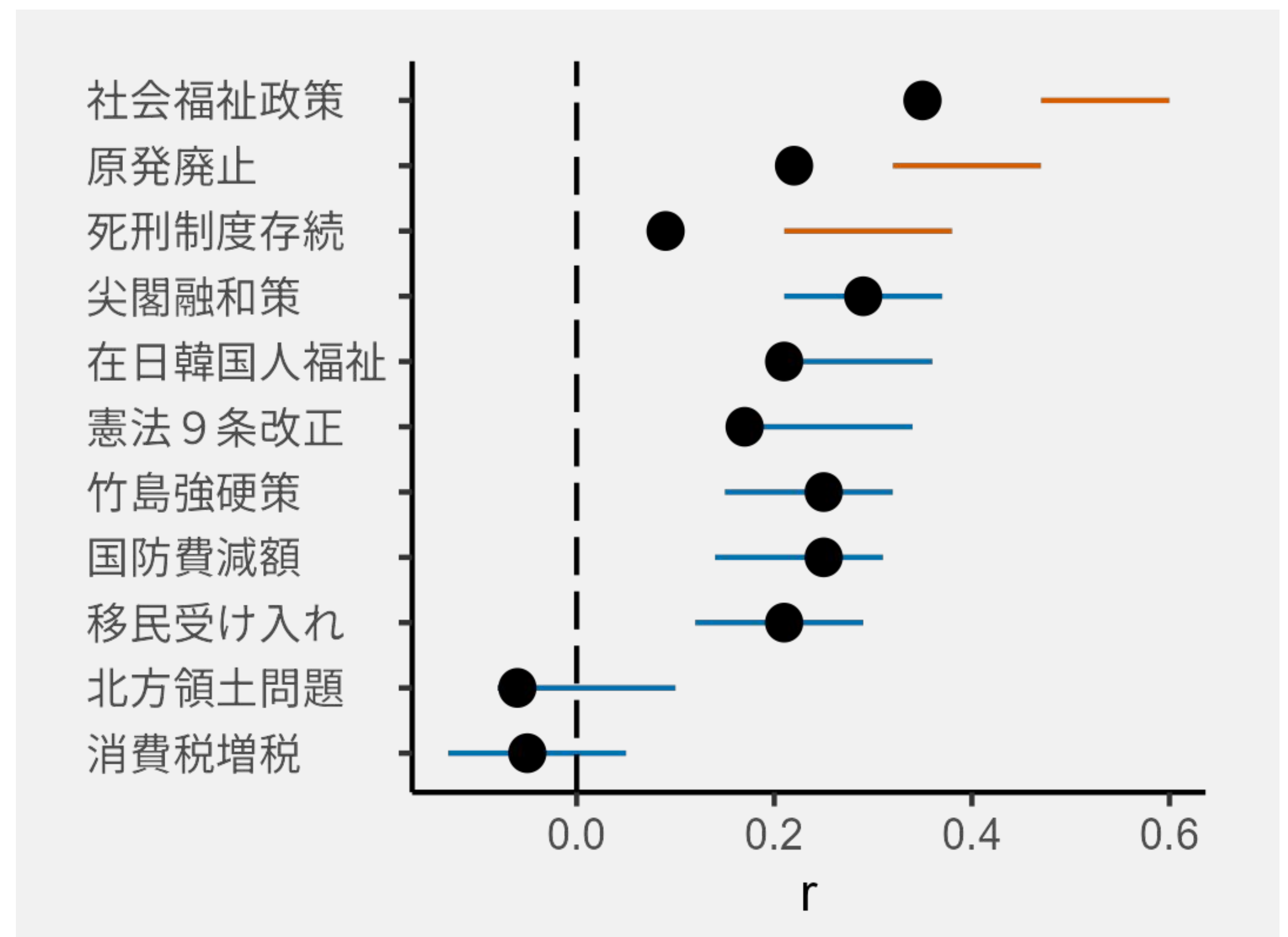


図 2. 政治的態度と SDO の相関係数について、本研究の 95% 確信区間 (線分) と三船・横田 (2018) の相関係数 (黒点). 青は、三船・横田 (2018) の相関係数が本研究の 95% 確信区間に含まれていたことを、オレンジは含まれていなかったことを表す。

Discussion

- 10 の政治的態度の項目で再現が成功
- 死刑制度存続と SDO の相関が再現されなかった理由として、三船・横田 (2018) のサンプル対象が偶然、両者の関係を低く見積もる集団であった可能性
- SDO と政治的態度の関連の強さにばらつきがある理由については、今後の検討が必要である

Appendix



本研究の結果は、
現在プレプリントとして
公開されています。
ご興味のある方は左の QR を
読み込んでいただくことで、
詳細な内容をご確認いただけます。
ご一読いただければ幸いです。